



令和5年度 神奈川県立多摩高等学校 第3回学校運営協議会議事録

日時 : 令和5年10月24日(火) 13:10~15:30

場所 : 神奈川県立多摩高等学校 小会議室2

出席者 : 学校運営協議会委員4名 校長、副校長

1 開 会

校長挨拶

- ・本日の台湾新竹高級中学との姉妹校交流（国際交流の日）について

2 協議

- (1) 3学年探究活動（MerakiⅢ）成果発表会時程について（副校長）

13:20~14:00 ポスターセッション

14:10~15:00 プレゼンテーション発表（視聴覚室）

15:05~15:30 アンケート記入

- (2) 3学年探究活動（MerakiⅢ）成果発表会について意見交換

☆学校運営協議会委員からのご意見等

1. ポスターセッションについて

・全員でやるのもいいが、発表者は1~2名でよいのでは。かなり練習した様子がうかがえる。台湾の生徒への説明では、英語の準備をしていたのかスマホをみて説明していたが、効果が薄れると思う。（日本の生徒の前では目を見てやっていた）

・いろいろなテーマに対して深く掘り下げていたものが多く取組に力を入れていることが感じられた。

・仮説・データ収集・分析・考察の過程から得られた経験は今後の進路においても必ず役に立つと思う。どのグループも真摯に取り組む様子が見られ、多摩高生の素晴らしさを感じた。英語によるプレゼン体験もよかったですと思います。

・興味深い内容の発表がいくつもあった。昔の「総合的な学習」を思わせる取組で、かなり生徒に研究も発表の仕方も任せている印象。研究か発表準備の過程で教員からの助言が入るとさらに良くなると思う。

2. プレゼンテーション発表について

・よく練習していた。見るものはスライドを見ているので、もう少しクリックのタイミングをゆっくりしてほしい。動画がわかりやすかった。多摩高生からの質問がなかったのが残念。多摩高でやっているのだから、質問は通訳を入れてもよいと思う。

・ 3チームとも発表時は自信をもって英語で発表していたが、質問に対する答えに時間を要した。難しい質問に対して、分からなければはっきりと答えればよいと思う。

・ 3年間かけての研究もあり、深まりを感じた。日本語で聞きたかったというのが正直な感想だ。高い水準の研究を指導する教師の苦勞を感じる。

・ 英語での発表、質疑応答が新鮮だった。英語での質問に英語で答えるという行為は相当難しい。生きた勉強になっている。動画をいれたり、実験の様子を入れている等の工夫が見られよい発表だった。

3. 本校の教育活動や学校運営について

・ 是非、台湾に行くときは、少なくとも挨拶、歌ぐらいは現地語を練習していったらどうか。

・ 海外の生徒とも交流が始まり、相互訪問も実現でき生徒たちの見識も広まることが期待される。国際的な意識向上にもつながると思う。

・ これだけ多くの生徒を台湾から迎えることができる県立高校が他にあるのかと驚く。今後の交流が深まることに期待できる。準備が大変な負担だと思うが、生徒にとっては貴重な経験。この経験を生かして自ら選んだ分野で力を発揮してほしい。

・ Meraki はとても有意義な活動だ。すべて生徒任せにすると浅い研究になりがちなので、要所要所でさらなる教員のアドバイスを。台湾との交流はよい刺激になると思う。

3 事務連絡

次回以降の開催について

・ 第4回は、12月18日（月）に実施予定。学校評価についての中間報告及び次年度に向けた意見聴取を行う。

・ 第5回は3月に実施予定（期日未定）。令和5年度最終評価と次年度に向けた意見聴取を行う予定。

4 閉会